

(宣言日) 令和6年3月7日

富士山SDGs推進パートナー宣言書

私たちは、「富士山を守り 未来につなぐ 富士山SDGs」を推進する富士宮市とともに、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

団体・事業所名称	創価学会・富士桜自然墓地公園
区分	<input type="checkbox"/> 企業（業種： ） <input checked="" type="checkbox"/> 特定非営利活動法人・非営利団体 <input type="checkbox"/> 教育・研究機関 <input type="checkbox"/> その他団体（ ）
代表者職/氏名	業務部長高橋大作
所在地	富士宮上井出2736-25
URL	
電話番号	0544-54-1851
メールアドレス	d-takahashi@soka.jp
反社会的勢力でないことの誓約	<input checked="" type="checkbox"/> 反社会的勢力でなく、反社会的勢力との関わりがない。

団体・事業所として2030年（中長期的な）のあるべき姿	
当墓地公園は2030年に開園50周年を迎えます。「地球民族主義」の遠大なビジョンのもと、「誰一人取り残さない」「誰もが安心して住みやすい自然との共存と環境保全のモデル」となるよう取り組んでおります。「桜」の満開時期には多くの市民の皆様にご足運で頂いておりますが、自然との共栄、そして地域の防災など、今後は「SDGs」の観点を取り入れ推進して参ります。	
団体・事業所としてのSDGs達成に向けた特徴的な取組（予定を含む）	
17項目全てを意識しながら推進して参りたい。定期的に行っている植栽にも温暖化対策や自然を残すことを観点に取り組む。今後は間伐材取り扱いも検討して参りたい。また、園内設置の調整池周辺の環境整備や、芝生の火災予防などにも注力する。事務部門においても、デジタル化によるペーパーレスを推進し、紙のリサイクルを積極的に行って参りたい。	
SDGsの各目標に向けた取組内容及び目標	
注力するゴール	2022年12月までの取組内容及び目標
11	世界遺産の富士山の麓にある墓地公園として、近隣の皆様と清掃にも積極的に取り組んできた。今後は清掃活動の継続とともに防災対策にも携わり、地域との共存共栄を目指して参りたい。
12	紙の廃棄8割減を目指し取り組んでいく。古紙回収業者にトイレットペーパー紙に再生する取り組みを開始。今後は、生ゴミを堆肥に変えるEM生ゴミ処理など、再生可能に注力していく。
15	定期的に芝生や木々の剪定を行い、倒木等の台風対策や森林保全に力を入れてきた。調整池の機能増進のための整備も一昨年より行っている。今後は地域の方や来園者に、SDGsの取り組みを知ってもらえるよう、展示等を作成し、環境保全への啓蒙も進めて参りたい。

(記入上の注意)

- 3つの目標に関する取組を記載してください。(環境・経済・社会の3分野からそれぞれ選択していることが望ましい。)
- 目標は、なるべく数値や数量でどのような貢献ができるかを表していることが望ましい。
- 上記の書式に書き切れない場合には、任意の様式で提出いただいて構いません。

宣言書送付先：富士宮市企画部企画戦略課 (kikaku@city.fujinomiya.lg.jp)